

あなたも考えよう！

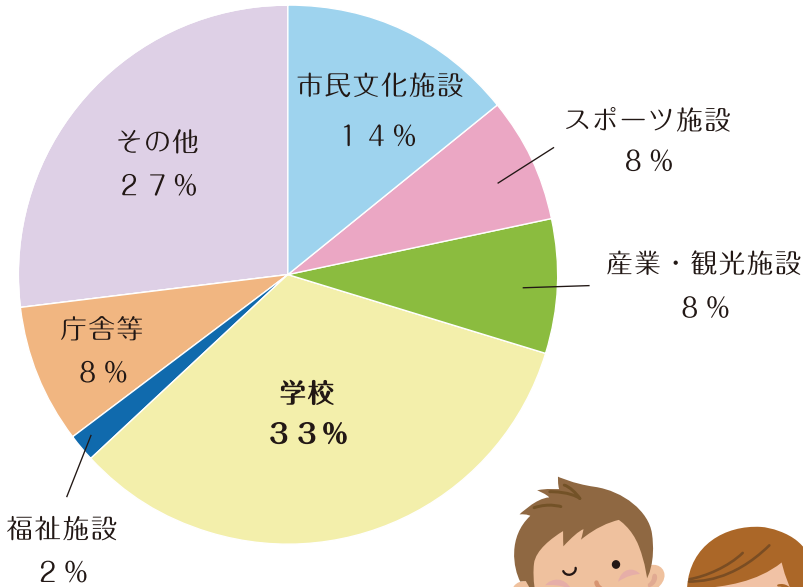
# 湯沢市の

# 公共施設

市役所や学校、スポーツ施設など、私たちの暮らしに身近な公共施設。  
その公共施設に今、老朽化や市民ニーズの変化など、いろいろな課題が生じています。  
公共施設は今どうなっているのか、これからどうしていけばいいのか、あなたも一緒に  
考えてみませんか？

# 公共施設はどれくらいあるの？

湯沢市には、約 450 の公共施設があり、総面積は約 30 万㎡ (30ha) あります。  
また、市民 1 人あたりの面積は 6 ㎡で、全国平均 (3 ㎡) の 2 倍です。



学校が3割以上を占めているんだね。



湯沢市役所



湯沢文化会館



湯沢東小学校・湯沢北中学校



稲川カルチャーセンター



稲川交流スポーツエリア



道の駅おがち



小町の郷公園



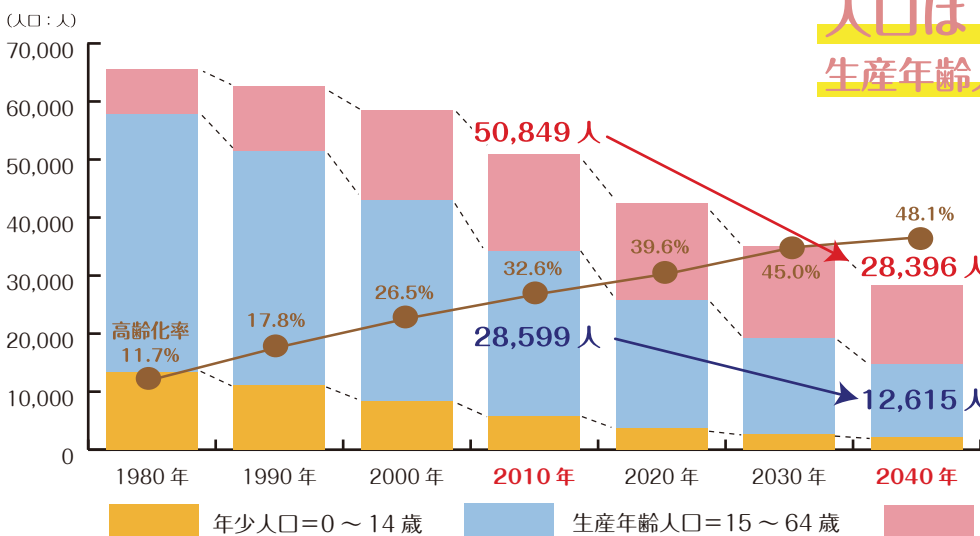
小安峡温泉総合案内所

# なぜ、公共施設のことを考える必要があるの？

## 理由 1

人口減少や年齢構成の変化により、ニーズが変化しています

人口は 30 年間で 44% 減少  
生産年齢人口は 30 年間で 56% 減少

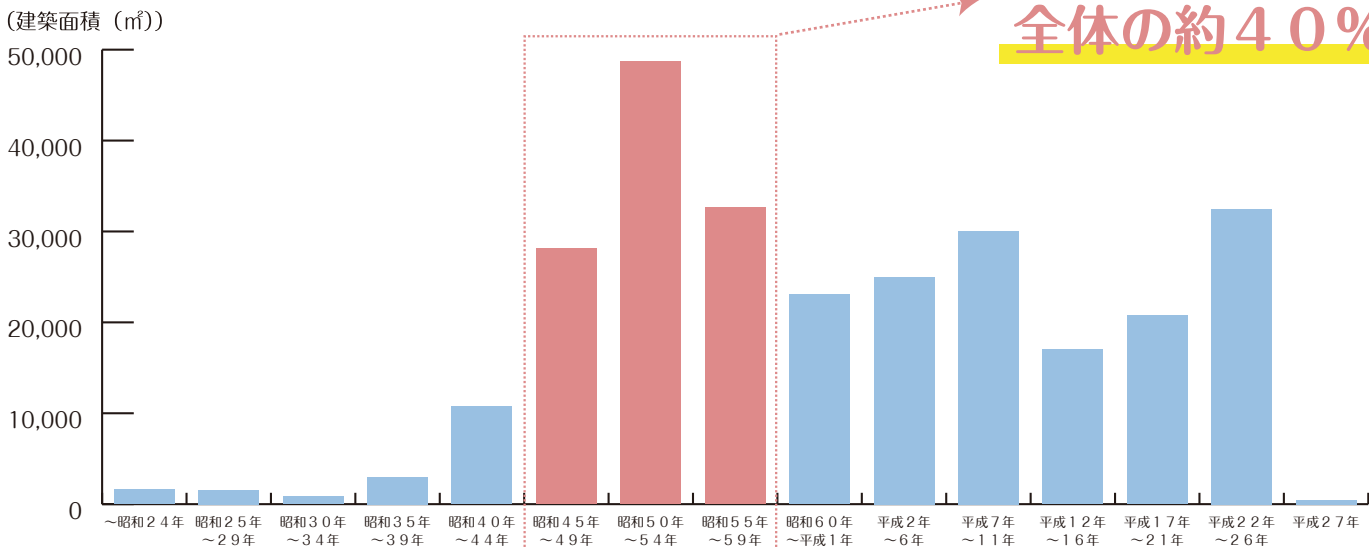


**POINT**  
人口が減る → 施設の利用者が減る  
少子高齢化が進む  
→ 施設のニーズが変わる

理由  
2

## 多くの施設が老朽化しています

### 建築年度ごとの面積推移



昭和45年から59年までの間に建設された公共施設の面積の合計は

**全体の約40%**

**POINT**  
 築30年以上の公共施設が全体の半分  
 一定期間 (昭和45年~59年) に集中的に整備  
 → 改修や建替が必要な時期が重なる

老朽化がすすんでいるねえ。

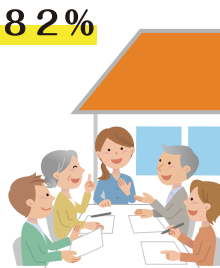
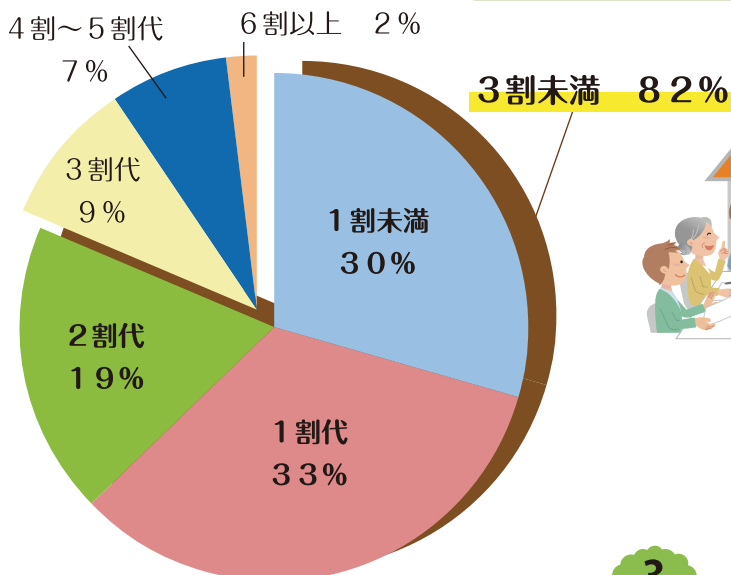


理由  
3

## 同じような機能を持つ施設がたくさんあります しかも、多くの施設で利用率が3割を下回っています

公民館、老人憩の家、勤労青少年ホーム、健康管理センター、交流センター・・・  
 名前は違いますが、これらは「会合ができる場所」として、似たような機能をもっています。

### 会議室などの利用率



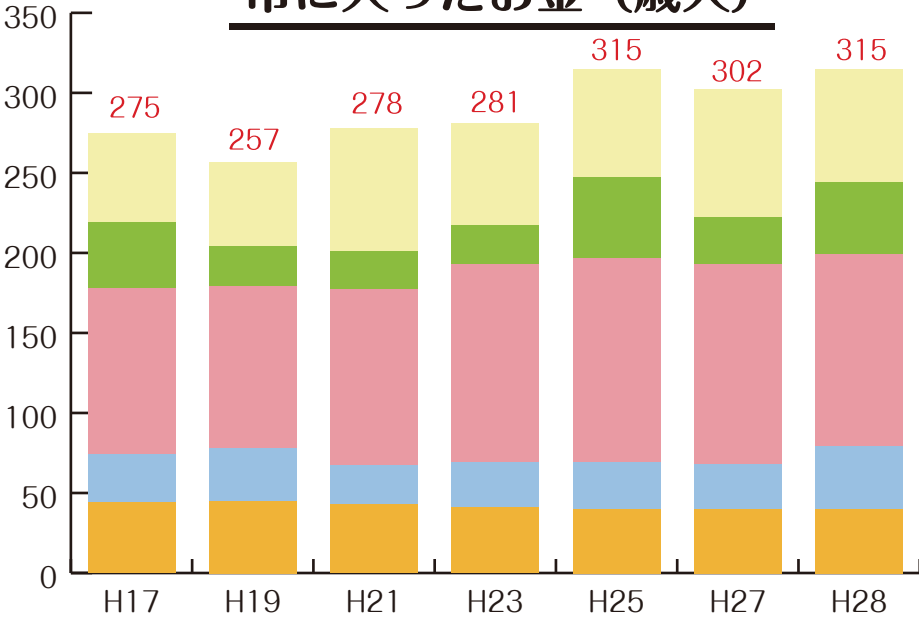
**POINT**  
 利用率が低い  
 → 人口減少、ニーズの低下などが原因

# 改修や建替には多くのお金が必要です

## 湯沢市のお財布事情

(単位：億円)

### 市に入ったお金 (歳入)



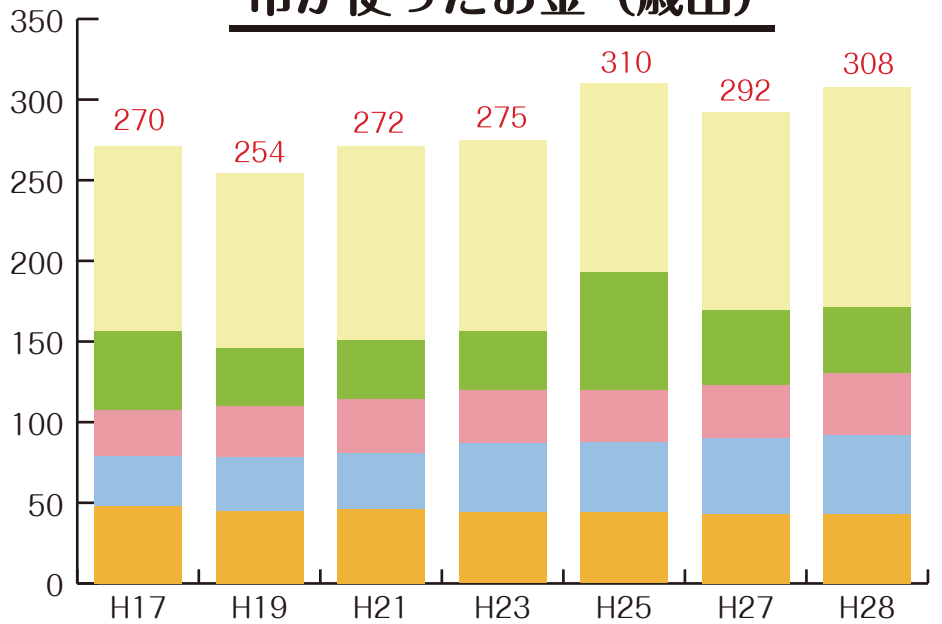
- 市税
- その他自主財源
- 地方交付税 (国からの仕送り)
- 市債 (借金)
- その他依存財源 (国県補助金等)

自由に使えるお金



(単位：億円)

### 市が使ったお金 (歳出)



- 人件費
- 扶助費 (福祉のための費用)
- 公債費 (借金の返済)
- 投資的経費 (施設整備等)
- その他

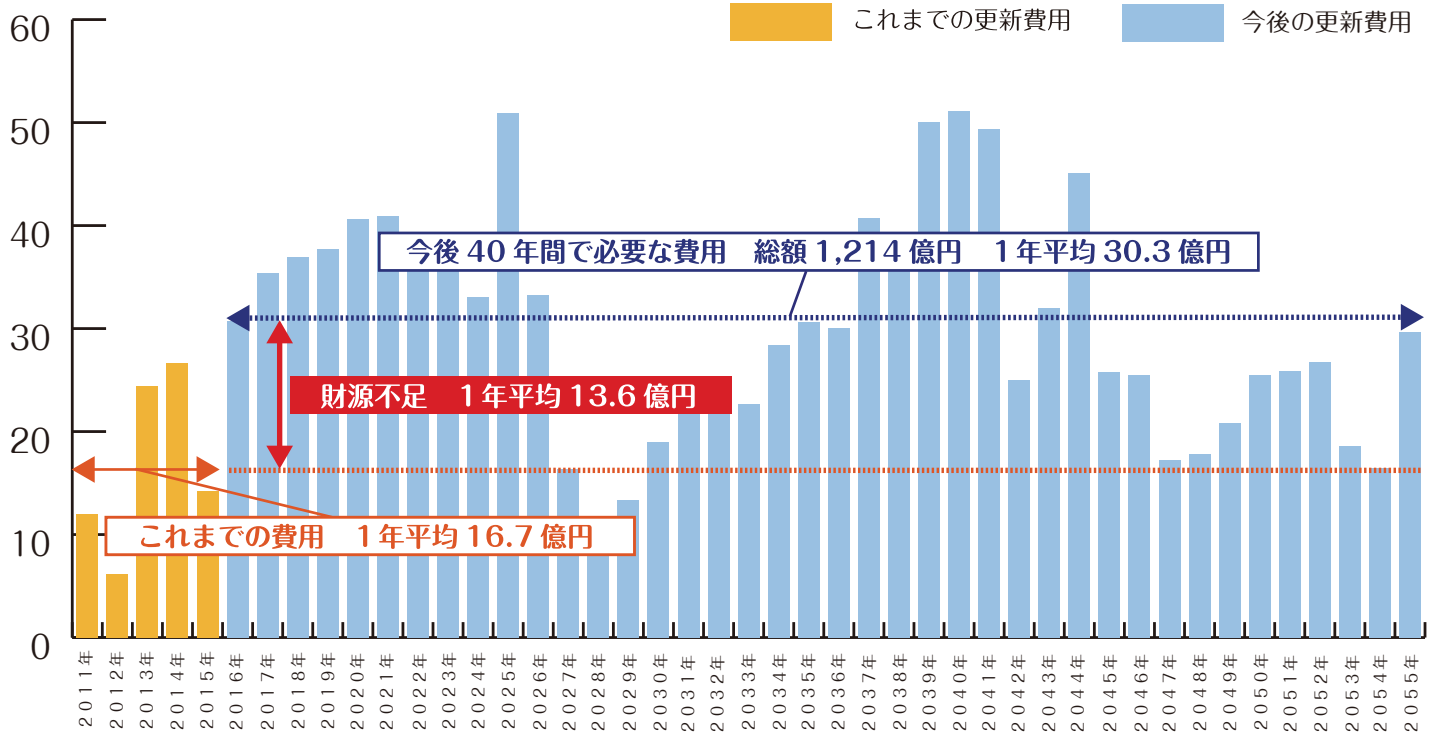
### POINT

市が自由に使えるお金は、これまでのところほぼ横ばい  
 → 今後は、市税収入や国からの仕送りが減少する見込み  
 出て行くお金は上昇傾向  
 → 今後も、借金の返済や福祉のための費用は増加する見込み

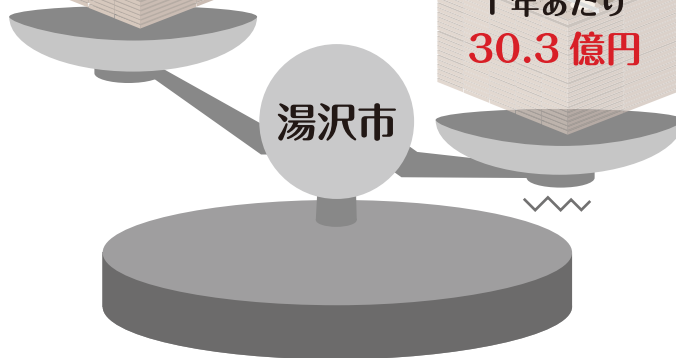
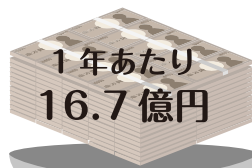


# 今後、公共施設の改修・建替にかかるお金（推計）

(単位：億円)



現在、施設の更新に使っているお金



今後、施設の更新に必要なお金  
(既存の施設をそのまま更新する場合)



**健全な財政を保つための  
お金が足りない！**



## POINT

今ある施設をすべて残す場合、現在かけているお金※の2倍近くのお金が必要

※税収が減ったり、福祉の経費が増える見込みのなか、「現在かけているお金」は、今後も同じ規模を維持できるのか...





# ここまでのまとめ

01

今ある公共施設をすべて残すことは非常に難しい状況です。

02

今ある公共施設を将来にわたって残す場合、市の他のサービス（公共施設以外の行政サービス）の維持・向上にも影響が及びます。

03

借金をして施設を整備することは可能ですが、その負担を子や孫などの将来世代に残すことになります。

# これからどうしていくの？

## 方針1 公共施設の配置や数量を、身の丈に合った状態に見直します。

色々な手法を取り入れながら、施設の配置や数量を適正な状態にして財政負担を縮減します。

## 方針2 施設は見直しても、市民サービスが低下しないように、代替案を確保します。

「施設（建物）」は見直しても、施設の中で行っている「サービス（機能）」は他の施設で実施するなど、代替案を確保します。

### 先進事例 複合化（機能の合体）

#### 複合化のイメージ

老朽化



児童館

機能の複合化

空き教室あり



小学校

機能の複合化

老朽化



コミュニティセンター

<公共施設の量をスリム化>

改修

空いた土地や建物は  
貸出・売却・解体など



学校は知名度  
が高いしアク  
セス環境も  
整っているね。

子どもたちと  
触れ合う機会  
ができたね。

防犯効果で  
親も安心ね。

放課後はその  
まま児童館で  
遊べる！



小学校+児童館+コミュニティセンター

複合施設

色々な機能が集まって利便性が向上

「コミュニティセンター」という  
建物はなくなっても、「会合や活  
動ができる場所」は確保  
→世代間の交流が増えて、コミュ  
ニティ機能が充実

## 先進事例 ICT を活用して、コンパクトな公共施設の整備

ICT（情報通信技術）などの活用によって、いろいろな行政サービスを受けられる場合があります。これにより、公共施設に直接訪れる必要性が低くなると、コンパクトな施設整備が可能になります。

### 図書館



電子図書館、移動図書館、コンビニ等で貸出・返却

いつでも利用できる。  
移動が短くなる。

### 市役所 (窓口)



コンビニで証明書の受取  
(住民票の写し、印鑑証明書ほか)

役所に行く手間が省ける。  
利用できる時間が長い。

### 病院



遠隔診療  
(テレビ電話で医師と患者がつながる)

自宅にしながら（または  
近距離で）受診できる。

### 方針3

## 民間のノウハウを最大限に活用します。


施設の整備や管理運営、余剰スペースの活用など、民間と協力することで、サービスが向上したり、経費を節約できる場合があるため、民間活用を積極的に進めます。

## 先進事例 民間企業や国・県との連携

民間などの  
空き部屋を活用

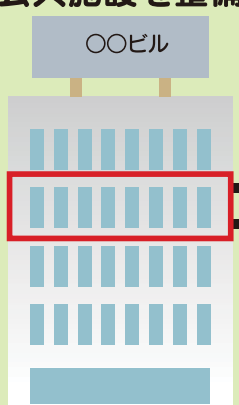
イメージ

この建物もそろそろ建て替えないといけないわね。でも、いつまで必要かなあ・・・




湯沢公共センター

民間などの施設を借上げて  
公共施設を整備



こんなメリットも！  
管理業務も民間に任せることが可能！


必要かわからない施設をずっと抱え込んでいく心配がなくて良かったわ。



〇〇ビル  
5F 〇〇クリニック  
4F 湯沢公共センター  
3F 〇〇貿易株式会社  
2F 株式会社〇〇運輸  
1F カフェ〇〇


民間施設等  
との合築

民間のメリット  
誘客効果、コスト削減  
業務開拓（市の委託）



民間施設

公共施設  
官民複合施設



メリット

公共施設の量をスリム化  
コストの削減（建設・運営等）  
色々な機能が集まって利便性が向上  
民間のノウハウでサービス向上

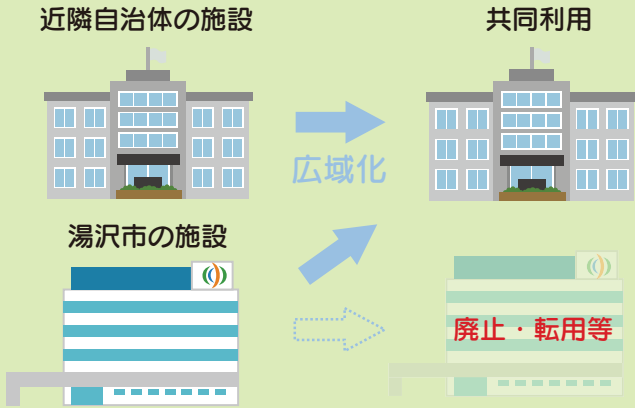


# そのほかの事例 広域化、用途変更、統廃合

01

## 広域化

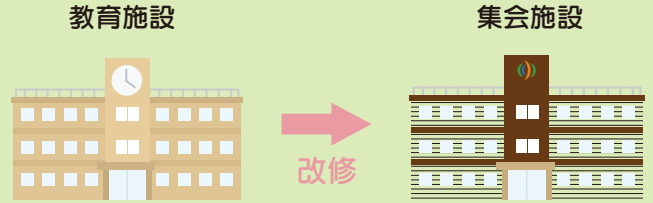
近くの自治体と連携して、地域外の住民も同じ料金で利用できるようにしたり、広域的に共同設置すること



02

## 用途変更

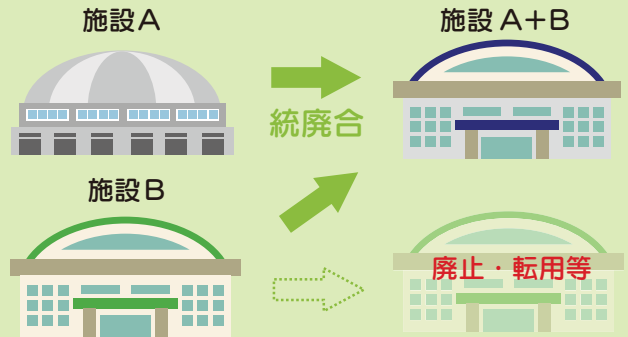
不要になった施設を別の目的（用途）に変更して使用すること



03

## 統廃合

同じ機能の施設を、利用状況や今後の見通しなどを考えて統合すること



### <不便や不安の軽減>

施設の数が減ることで距離が遠くなるなど、不便や不安を感じる場合があります。

そのため、例えば施設以外のソフト事業を充実させたり、公共交通を利用しやすい環境づくりを行うなど、対応策を検討します。

方針4

## 地域全体を見渡して、施設が有効に活用されるように、配置のあり方を検討します。

個々の施設を「点」で見るのではなく、地域全体を「面的」に見て、類似の施設や機能がある場合は、その内容などを点検し、施設が有効に使われるように見直します。



# 具体的には何をやるの？

市民の皆さんの声を伺いながら、個々の施設の方向性を示す「公共施設再編計画」を作ります。

様々な立場や世代、地域の方々の意見を伺います。

## 集会施設やスポーツ施設の市民の利用割合



(H28 公共施設に関するアンケート調査)

## 集会施設の維持管理にかかっている経費のうち、利用者の負担



(H29 施設評価結果)

施設の利用者はもちろんのこと、利用しない方々の意見もバランスよく伺います。



## おおまかな流れ

平成29年度



### 評価・分析

目的、利用状況、経過年数、コストなどを調査



平成30年度



### 検討

市民意見交換会、若者・女性が輝くまちづくり協議会、アンケート、市民討議会、外部検討委員会ほか

### 立案（中間案）

公共施設再編計画（中間案）の公表

平成31年度



### 見直し

意見交換会、パブリックコメントなどを通して計画を見直し

### 策定

公共施設再編計画の策定・公表

# まとめ

## 公共施設を取り巻く状況



ヒト

人口減少、少子高齢化  
(ニーズ変化)



モノ

施設の老朽化、類似施設、  
利用率の低下



カネ

改修・建替に多額の費用、  
窮屈な財政

- ▶ すべての公共施設を残すことは非常に難しい
- ▶ すべて残す場合、公共施設以外の行政サービスに影響
- ▶ 過度な借金は、将来世代にとって大きな負担になる

## 今後の方針



- ① 公共施設の配置や数量を身の丈にあった状態に見直す
- ② 市民サービスが低下しないように代替案を確保する
- ③ 民間のノウハウを最大限に活用する
- ④ 地域全体を「面的」に見渡して、施設の配置を検討する

## 具体的な計画づくり



個別施設の方向性を示す「公共施設再編計画」を平成31年度末まで策定  
→再編計画は、「施設」と「機能」を分けて考え、市民の皆さんが必要とする公共サービスを維持・向上させることで、一人ひとりの満足度を高めるための実行計画

公共施設の再編を、新しいまちづくりの機会ととらえ、  
これからの時代に合った「新たな公共空間のあり方」を  
市民の皆さんと協働で考える



このパンフレットの内容について  
詳しく知りたい方は、「出前講座」  
にお申し込みください。

※講座1回につき、おおむね10人以上の参集をお願いします。



**魅力ある公共施設を次の世代に！**



## 湯沢市 総務部 企画課

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1

電話：0183-73-2113（企画課直通） FAX：0183-73-2117

Mail：kikaku@city.yuzawa.lg.jp

湯沢市公共施設

🔍 検索